

(無断転載を禁ず)

いぶすき検定

第3回 上級試験

問題用紙

(午前 13 時 30 分開始 制限時間 120 分)

注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
2. 答案はすべて答案用紙に記入し、提出すること。
3. 答えの欄には、各問につき、1つだけ番号を記入すること。
4. 点数は100点をもって満点とし、問1が20点(5問で各4点)、問2が20点(5問で各4点)、問3が20点(1問で20点)、問4が20点(1問で20点)、問5が20点(1問で20点)とします。

平成28年8月7日

指宿商工会議所

<記述問題>

1. 指宿の歴史

〔問題〕 近世指宿についての説明中の空欄を埋めなさい。

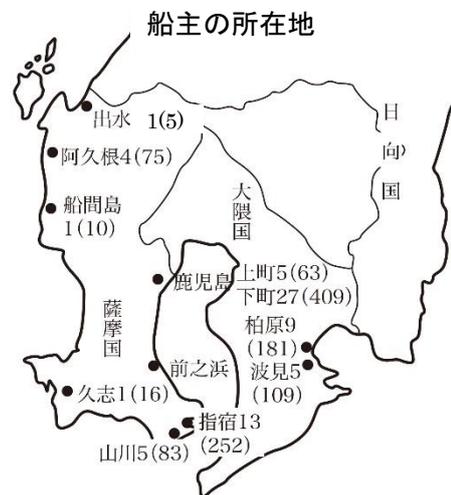
〔1〕 天正15年(1587) 穎娃郷清見で農民の反乱が起きた。穎娃郡・指宿郡を治めていた領主穎娃久虎が鎮圧に向かう途中に落馬し、それが原因で死亡した。息子の久音が家督を継いだ。翌天正16年(1588)、突然谷山に所領変えされ、それ以降、指宿、穎娃、山川は[]の直轄地となった。

〔2〕 山川港の重要性から、文禄元年(1592)に揖宿郡から福元村、成川村を分離して一郷として[]がつくられた。その後、穎娃郡から大山村と岡見ヶ水を分離して山川郷に編入した。

〔3〕 延享元年(1744)、藩主島津継豊の命により、弟忠郷に和泉家を継がせ、今和泉島津家が成立。同時に揖宿郡から小牧村、岩本村、新西方村を分離し、穎娃郡から利永・上野・池田を分離して[]がつくられた。

〔4〕 安政2年(1855)頃の『道の島船賦』には、薩摩藩が藩内28海運業者に、三島(奄美大島、喜界島、徳之島)を回漕する三島方御用船の大きさや振り分け数が記録されている。

幕末期の船主と総反帆数をまとめた上記資料によると、指宿の浜崎太平次が170反帆、[]が56反帆、山川の河野覚兵衛が32反帆、勢左衛門が51反帆等と記載されている。



数字は持船数と(総反帆数)

〔5〕安政4年（1857）、島津斉彬が命じて始まった鳥越堀切の掘削は、池田湖の水を開闢方面にひく水利事業である。今和泉島津家の領地80町部の干拓を目指し始まった一大事業であるが明治維新により中断してしまった。

明治5年に県令大山綱良がこの事業を再開。莫大な工事費（16,192円）と延べ11万人余りの作業員を費やし、高低差最大50mの岩の崖を掘削して明治9年に完成。

池田湖の水位が3メートル低下し、池田湖の東側には17町3反の「干寄りの田んぼ」ができた。また事業の成功を記念して明治9年4月には、上仙田鳥越に当時の模様を記した□□□□が建てられた。

2. 指宿の文化

〔問題〕 近現代指宿の文化についての説明中、空欄に適切な語句を記入しなさい。

〔1〕明治2年、政府から神仏分離令が出された。これは江戸時代まで国教的立場にあった仏教と神社を分離するというもの。薩摩藩ではこれが廃仏毀釈までに発展し、寺が打ち壊され、仏像や仏宝などが焼かれ、藩内1066寺院すべてが廃寺となった。

指宿でも、枚聞神社に隣接してあった瑞応寺や山川の□□□□、指宿の長勝院をはじめ、由緒ある寺院が無くなった。

〔2〕指宿市内の5地区には、琉球にまつわる郷土芸能が伝承されている。

これは大山琉球傘踊、利永琉球傘踊、入野・物袋琉球人踊等である。江戸時代、山川港に着いた琉球使節団が、枚聞神社に航海の無事をお礼するため、街道沿いで踊った踊りをまねたもの。□□□□の歌詞には、琉球使節団が山川港へ向かう途中の情景が歌い込まれている。

〔3〕成川地区では、旧暦5月5日に無病息災を願う行事が広く行われていた。現在は鰻地区でのみ行われている伝統行事で、藁人形やヤツデ、餅などを吊るした綱を、集落の入口の道路を横切って張り、集落の外に向かって小石を投げる悪疫よけの行事がある。この行事の名前は□□□□である。

[4]薩摩が生んだ幕末の豪商 第8代濱崎太平次の頌徳碑は昭和7年6月15日に太平次翁の70年忌にあたって建立された。

公爵島津忠重(第30代島津家当主)書があり、隣の撰文には「正3位勲2等侯爵撰」と刻まれている。この稲荷神社は第5代[]が寛政年間(1789~1800)に創建したといわれている。

(注)「正3位勲2等侯爵大久保利武」は明治維新三傑の一人大久保利通の三男で大久保家を相続した。

[5] 鹿児島を訪れた文人墨客の多くは、指宿にもやってくる。

[]は昭和14年10月12日に枚聞神社を参拝したおりの三首を残している。

「たわやめの 納めまつりし玉手筥たまたまてぼこそのただ香にしわがさわ觸るるごと」

「開聞はまどか圓なる山とわたつみの 中より直ぐすに天にそび聳えけれ」

「玉の井に心恋しみ丘のへを のぼりてくだる泉は無しに」

<論述問題>

※論述問題においては、おおよその目安として文字数指定をしていますが、文字数の多寡が評価に影響するものではありませんので、そこは気にせず出題の意図に沿ってご解答ください。それでも、解答用紙に収まるようにお書きください。

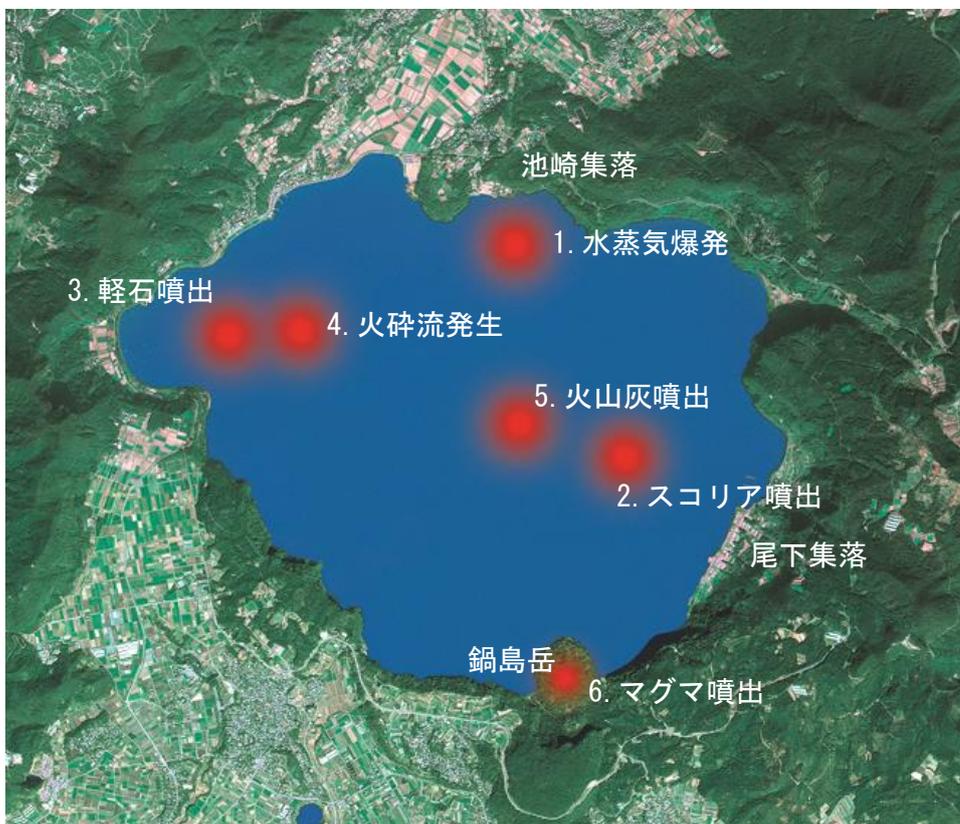
3. 指宿の自然

激しい噴火活動で生まれた神秘の湖 池田湖

[問題]

九州最大の湖である池田湖は、約5700年前から始まった激しい噴火活動で出来た、カルデラ湖である。『噴火した場所と順番』の写真をもとに、300字程度で形成過程を説明しなさい。

噴火した場所と順番



4. 指宿の産業・経済①

指宿の海上交通

産業経済の循環基盤の重要な一つは交通・運輸である。

明治時代の主要な陸上交通機関は人力車と馬車であった。

昭和2年頃に鹿児島―指宿間は、鹿児島乗合自動車株式会社、猪俣自動車運輸部、山下自動車商会等が乗合自動車を導入していた。

鉄道の指宿線開通は昭和9年12月、と遅れていた。

〔問題〕

指宿の海上交通の経過と現況を次の語句を使い250字程度で説明しなさい。

鹿児島湾内航路 木造船や汽船
山川―根占航路 「フェリーなんきゅう」
種子・屋久島 「トッピー&ロケット」

5. 指宿の産業・経済②

利右衛門が伝えた唐イモ（サツマイモ）

前田利右衛門が伝えた唐イモ。平成25年の指宿市での作付面積は435haである。青果用145ha、澱粉用168ha、焼酎用90ha、加工用32haが作付されている。生産量6,919トン、生産額596百万円である。

いも焼酎も酒造会社6社が、68銘柄以上もの焼酎を作っている。

〔問題〕

前田利右衛門の伝えた唐イモが、救荒作物として享保、天明、天保の大飢饉を救った。

次の4つの語句を使い、その歴史を300字程度で説明しなさい。

宝永2年(1705年)
利右衛門の頌徳碑
8代将軍徳川吉宗
青木昆陽